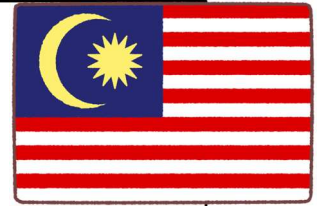


マレーシア通信 (NO.3)

青年海外協力隊からの報告



2022年度3次隊 まついじゅんぺい
松井 絢平

Selamat Pagi(おはようございます)。青年海外協力隊として派遣中の松井です。
2023年2月からマレーシアのコタキナバル(サバ州)で活動しています。今回は、
マレーシアの文化について紹介しようと思います。

どのような人達がいるの？

マレーシアはイスラム教、仏教、ヒンドゥー教、キリスト教などを信仰している
人々で構成されています。このため、写真の様に街中にはモスク、寺院、キリスト
教会などが建立しています。また、首都のような大きな街には、チャイナタウンや
リトルインディアなどもあります。



服装はどうしているの？

普段の服装は、Tシャツやバジュ・バティック(写真)を
着ています。熱帯地域の国であり、日中暑いことから一枚の
み着ています。バティックはアロハシャツに似ており、生地
がとても薄いです。デザインについては地域によって変わら
れますが、私の活動している地域は派手な傾向があります。



何を食べているの？

マレー系料理、中華系料理、インド系料理など様々な種類のものがあります。主な料理ですが、ナシヤン、ラクサ、サテー、ロティチャナイ（写真）などです。金額はRM5~15程度（150~450円）とお手頃ですが、揚げ物料理が非常に多く、健康には気を付ける必要があります。日中は30度程度と暑いため、昼はランチボックスやデリバリーを利用する人が多いです。日没後は外に屋台が出店する為、19時頃になると賑やかになります。



フルーツも多く実っています。頻繁に食べられるものとしてドリアンやマンゴー（写真）があります。匂はあるものの、年中食べることができる為、屋台が出てくる時間になると強烈な匂いが漂ってきます。



日本人であれば、基本的にどれを食べても問題ありません。しかし、現地の同僚と一緒に食事をする際は、宗教の関係上、食べられないものがあるため注意を払っています。

次号については、マレーシアの自然環境に紹介していきます。